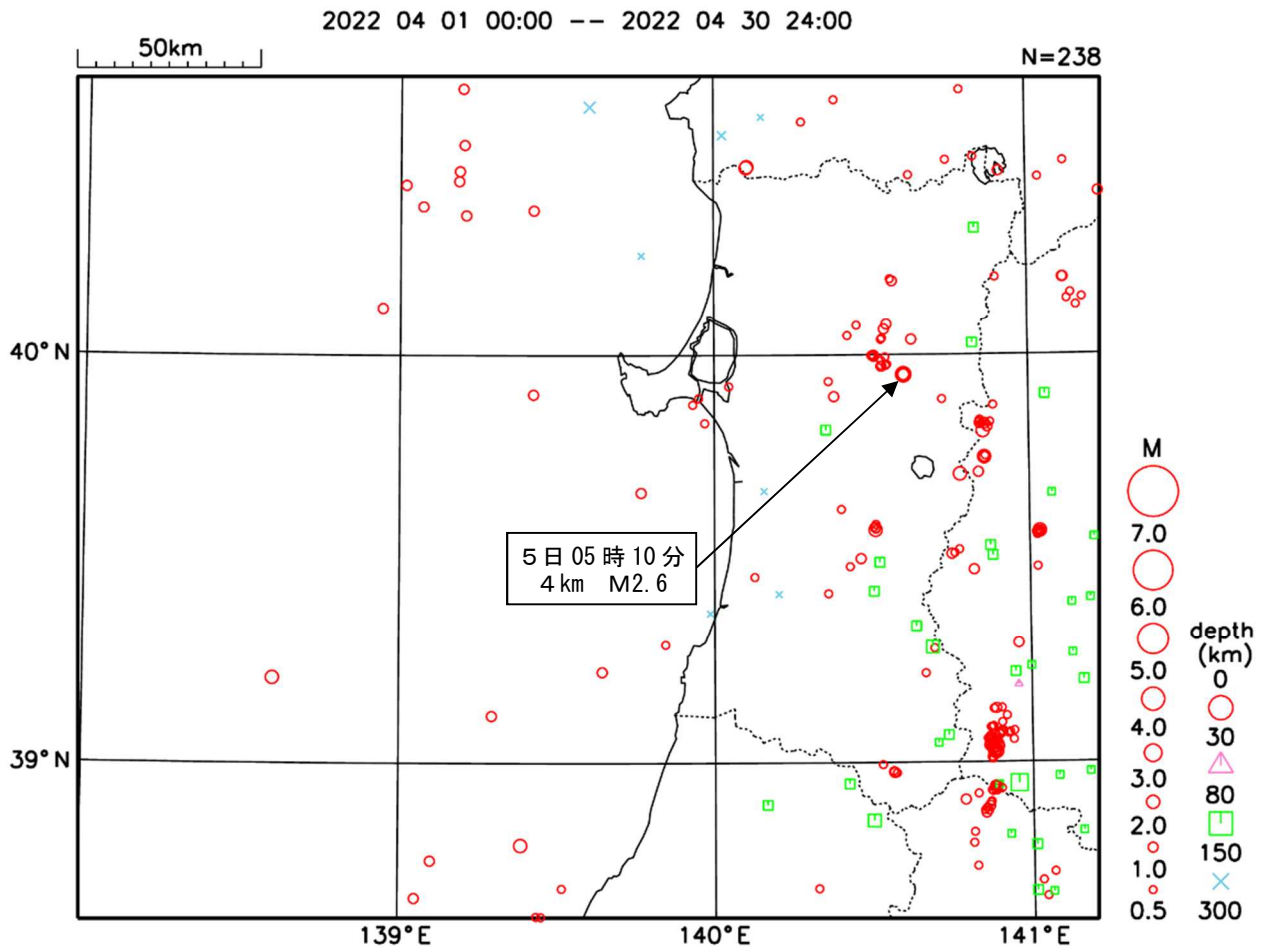


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2022年4月

【震央分布図】



〈4月の地震概況〉

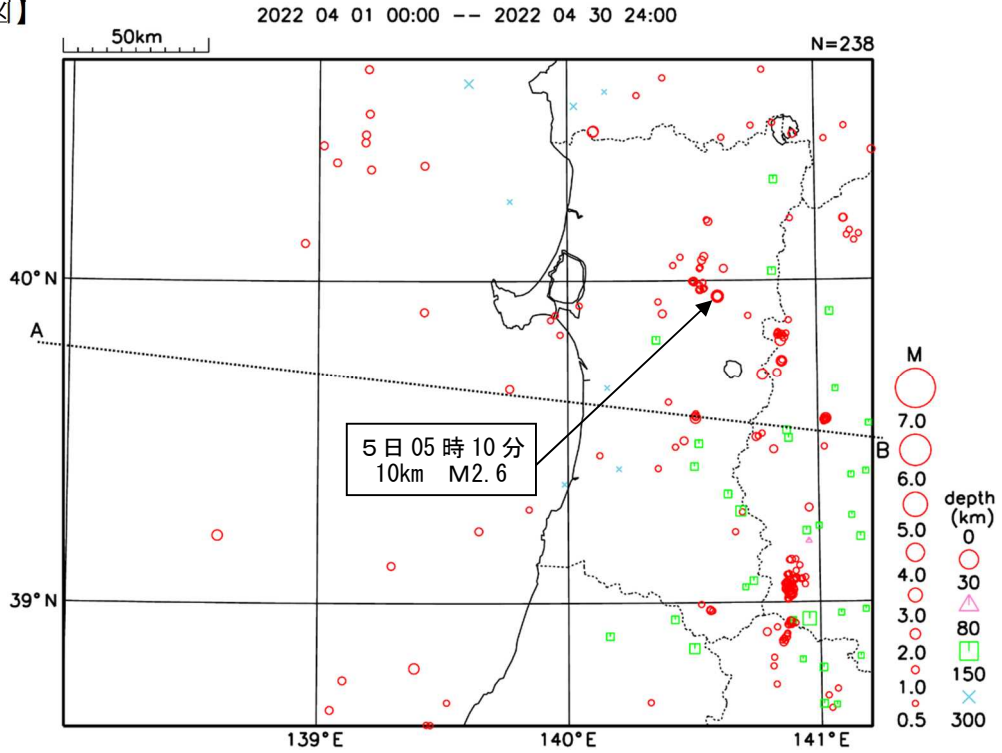
この期間、秋田県とその周辺を震源とする地震は238回発生した。県内で震度1以上を観測した地震は5回（3月：14回）で、そのうち図の範囲内を震源とする地震が1回、図の範囲外を震源とする地震は4回であった。

4日19時29分に福島県沖の深さ44kmでM5.4の地震が発生し、福島県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した。県内では、秋田市、仙北市、湯沢市などで震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

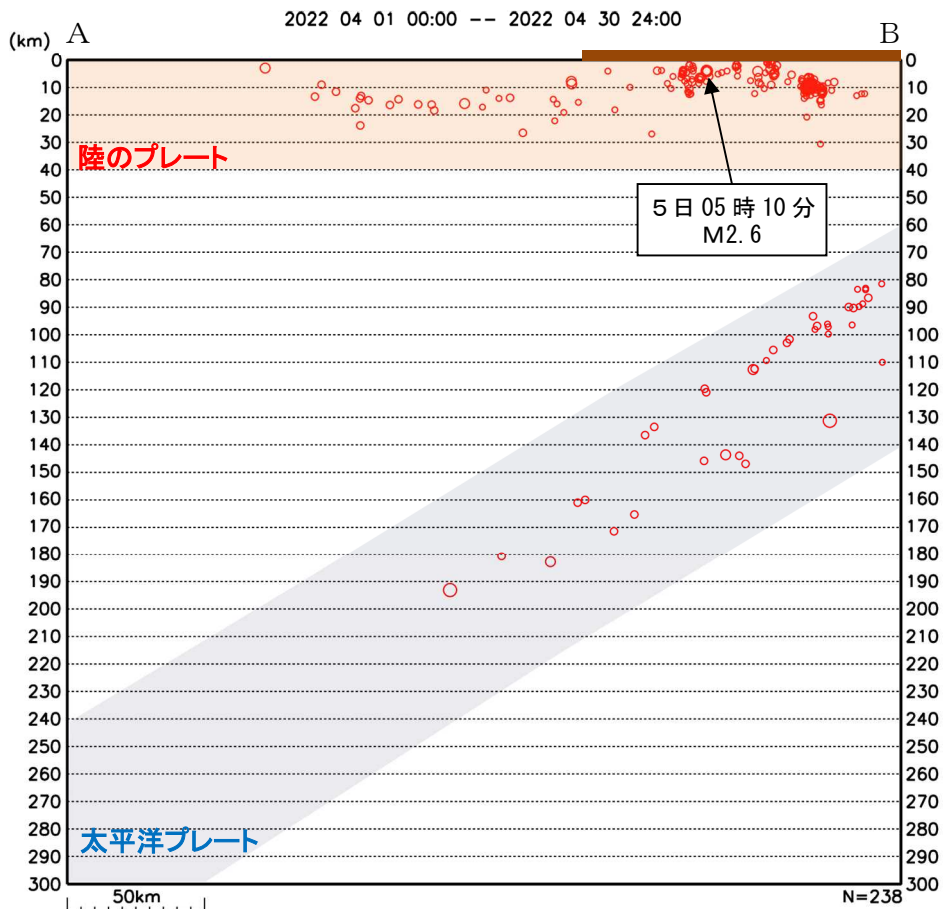
5日05時10分に秋田県内陸北部の深さ4kmでM2.6の地震が発生し、仙北市で震度1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

6日00時03分に福島県沖の深さ53kmでM5.2の地震が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3～1を観測した。県内では、大仙市で震度2を観測したほか、南部を中心に震度1を観測した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A-Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ ——— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度1以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2022年4月1日～2022年4月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2022年04月04日19時29分	福島県沖	37° 20.6' N	141° 34.5' E	44km	M5.4
秋田県	震度 1：秋田市河辺和田＊ 由利本荘市前郷＊ 横手市大雄＊ 湯沢市沖鶴 湯沢市横堀＊ 羽後町西馬音内＊ 東成瀬村椿川＊ 大仙市刈和野＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市高梨＊ 仙北市西木町上桧木内＊				
2022年04月05日05時10分	秋田県内陸北部	39° 57.0' N	140° 36.2' E	4km	M2.6
秋田県	震度 1：仙北市西木町上桧木内＊				
2022年04月06日00時03分	福島県沖	37° 48.0' N	141° 34.9' E	53km	M5.2
秋田県	震度 2：大仙市高梨＊ 震度 1：三種町森岳＊ 秋田市河辺和田＊ 秋田市雄和新波＊ 由利本荘市鳥海町伏見＊ 由利本荘市西目町沼田＊ 由利本荘市岩谷町＊ 由利本荘市前郷＊ にかほ市平沢＊ 横手市雄物川町今宿 横手市大雄＊ 湯沢市沖鶴 湯沢市川連町＊ 湯沢市横堀＊ 羽後町西馬音内＊ 東成瀬村椿川＊ 東成瀬村田子内＊ 秋田美郷町土崎＊ 大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊ 大仙市太田町太田＊ 大仙市大曲花園町＊ 仙北市西木町上桧木内＊ 仙北市田沢湖生保内上清水＊ 仙北市角館町小勝田＊				
2022年04月19日08時16分	茨城県北部	36° 52.6' N	140° 20.8' E	93km	M5.4
秋田県	震度 1：由利本荘市前郷＊				
2022年04月24日07時19分	岩手県沿岸北部	39° 38.3' N	141° 52.4' E	64km	M4.0
秋田県	震度 1：仙北市田沢湖生保内上清水＊				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

5月26日は「県民防災の日」です

～「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」を決して忘れない～

防災メモ

今年の5月26日で「昭和58年(1983年)日本海中部地震」の発生から39年になります。

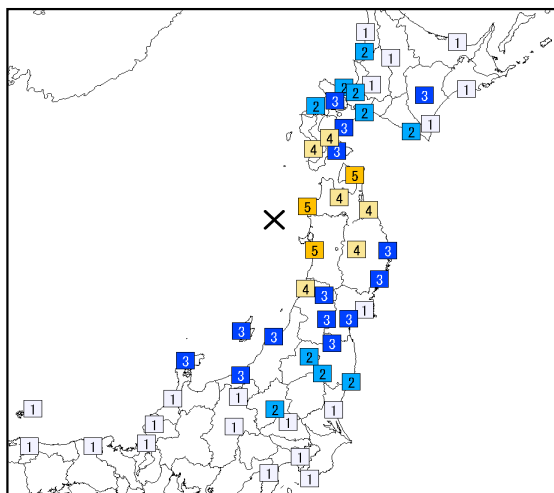
東日本大震災のような大きな災害があると、過去の災害は忘れ去られる傾向があります。しかし、我々秋田県に住む人間はこの災害を決して忘れてはいけません。

秋田県は日本海中部地震を風化させないために、5月26日を「県民防災の日」と定めています。毎年5月26日の前後には県内各地で防災訓練が開催されます。最寄りの地域で行われる防災訓練に積極的に参加し、時間とともに風化してしまいがちな防災意識を再び高め、地震・津波から身を守るための行動を再確認しましょう。

【日本海中部地震の概要】

昭和58年5月26日11時59分、秋田県沖でM7.7の地震が発生し、秋田市などで震度5を観測したほか、北海道から中国地方にかけての広い範囲で震度4～1を観測しました。能代港の検潮所では194cmの津波が観測されました。また、現地調査によると、津波の高さは青森県沿岸から秋田県男鹿半島沿岸にかけて5～6mに達しました。

この地震・津波により、県内では死者83名、負傷者265名、住家全半壊3,764棟など大きな被害が発生しました。被害の特徴として津波による被害が大きく、死者のうち79名は津波によるものでした(被害状況は、秋田県災害年表による)。



日本海中部地震の震度分布図と震央
(当時の震度階級区分)

地震から身を守るために

- ・ 地震発生直後は、テーブルや机の下に身を隠し身の安全を確保する
あわてて外に飛び出さない!
- ・ あわてて火を消そうとせず、揺れが落ち着いてから火の始末をする
あわてず、まず身の安全を確保する!
- ・ 自動販売機やブロック塀の倒壊、看板や割れた窓ガラスの落下に注意する
- ・ 日頃から家具等の転倒・移動防止、ガラスの飛散防止対策をする

津波から身を守るために

- ・ 海岸で強い揺れを感じた時、または弱い揺れでも長い時間揺れを感じた時は、大津波警報、津波警報等の発表を待たずすぐ避難する
- ・ 揺れを感じなくても、大津波警報、津波警報等を見聞きした時は、すぐに避難する
- ・ 避難は、「より遠くへ」よりも「より高い場所」を目指して逃げる
ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難する!
- ・ 津波は、川を遡ってくるので川からも離れる
- ・ 津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報、津波警報等が解除されるまで海岸や川に近づかない

地震・津波の防災リーフレットや、津波防災啓発ビデオは以下のURL(気象庁HP)から入手できます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>